

北海道黒松内町では、地域おこし協力隊員（農業関係）を募集します。

北海道黒松内町の主要作物の一つに「種子ばれいしょ」があります。おいしくて安全安心な「ばれいしょ」を生産するには、優良な「種子ばれいしょ」が不可欠です。しかし、離農や高齢化、後継者不足により、「種子ばれいしょ」を生産する担い手の減少が進んでいます。

そうした状況を踏まえ、この度、「種子ばれいしょ」をはじめとする畑作農業の基本を習得して、将来、地域農業の担い手となっただけの方を「地域おこし協力隊員」（※）として募集します。 ※町から業務委託を受ける法人で雇用し、町から委嘱状を交付します。黒松内町でいっしょに農業を始めて見ませんか。是非ご応募ください。

■おすすめポイント

1 畑作農業の基本をしっかりマスターできます。

- 地域の先輩農家やJAの支援のもと、畑作農業を行う上で必要な知識・技術をしっかりマスターできます。JAの専属指導員も付きますので、一人でも、全く経験がなくても安心です。

メインは「種子ばれいしょ」の栽培ですが、小麦、豆などとともに輪作（病害などを避けるため、複数の作物を年ごとに交代させながら栽培すること）で生産していますので、それらの作物の栽培についてもきっちりマスターできます。

- 農作業に必要な免許の取得も会社が支援します。免許の取得は業務の一環として考えているため、自動車学校には勤務時間中に通うことができます。

2 将来は、引き続き法人で働くか、独立して畑作農家として自立するか選べます。

- 地域おこし協力隊満了後は、本人の意向により引き続き法人において勤務を継続することも可能（正社員として採用）ですし、将来的に畑作農家として自立することも可能です。自立経営を目指す場合は、法人・JA・黒松内町が連携して支援します。

3 福利厚生も充実しており、余暇もしっかり楽しめます。

- 地方や北海道での暮らしが初めてでも、法人の構成メンバー（町内の農家）がサポートします。
- 法人の職員（契約社員）として採用され、社会保険等も完備（健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険）しています。
- 住まいをご紹介します。住まいに最低限必要な家具は法人で用意します。
- 農作業のない冬は比較的時間に余裕ができるので、約1ヶ月の長期休暇を取得できるなど、余暇も満喫できます。

黒松内町は、ニセコ、ルスツなどの大型リゾート地にも近いほか、札幌や函館などの大きな町も日帰り圏にあり、夏冬問わず、生活を楽しめます。

注：詳しくは、別添「募集要項」をご覧ください。